



# かがやく瞳

No. 27

発行日 令和7年2月5日  
 発行責任者 大江 學  
 編集 社会福祉法人  
 北見福祉会広報委員会  
 〒090-0835 北見市光西町 178-5  
 TEL 0157-57-5057  
 FAX 0157-57-4767

じょうぶな体の子ども  
 ゆたかな心の子ども  
 のびのび遊ぶ子ども

早いものであつという間に年度末を迎えようとしています。各こども園の活動もクラス毎にまとめの段階に入ってきました。特に年長の子ども達は、こども園で過ごす期間もあと僅かです。ご家庭や園での励ましにより、期待に胸を膨らませながらの卒園、各クラスの修了を迎えさせてあげたいものです。

\*\*\*\*\* 「母親」の呼び方いろいろ \*\*\*\*\*

皆さんのご家庭では、お子さんから何と呼ばれているのでしょうか。「パパ」「ママ」「お父さん」「お母さん」等、いろいろでしょうか。過日の北海道新聞で「母親」の呼び方について、札幌市の某中学校でアンケートを取った記事が次のようにありましたので紹介します。

『 私のクラスでは「ママ」呼びが最も多く、2番目は「お母さん」呼びだった。予想では「お母さん」呼びの方が多いのかと思ったが、以外にも「ママ」呼びが多かった。

「ママ」呼びが多い理由には、「幼稚園などで先生がパパ、ママと呼ぶこと」「ママの方が2文字で言いやすい」等である。その影響で呼び方を変えずに中学校でも「ママ」と呼ぶ人が多いのかもしれない。

呼び方を変えない理由としては、「いきなり変えると母親が戸惑うかもしれない」や「小さいころからの癖」等であった。

他に出てきた呼び方は、「母さん」「母上」「おかあ」「お母たん」「〇〇さん(母親の名前)」だった。母親の呼び方は、その子の性格が出ていたり、逆に少し以外だったりといろいろな発見があり、聞いてみてよかったと思った。』

さあ、お子さんの成長と共に親は何と呼ばれていくのでしょうか。今から楽しみです。



\*\*\*\*\* 子育て支援センターの取組 \*\*\*\*\*

光西認定こども園に併設している子育て支援センターは、0歳児から就学前のお子さんが親子で遊べる場です。また、保育教諭が、子育ての相談や遊びのヒント、ミニ講座など子育てに関する様々な情報を提供し、子育ての応援をしています。特にミニ講座や子育て支援事業では、これまで“イモ植え・イモ掘り” “公園で遊ぼう” “離乳食講座” “クリスマス会” などを実施してきました。

10月11日には、ミニ講座で「親子で秋の味覚を味わうこと」を目的とした“ぶどう狩り”を実施しました。当日は、1歳児と2歳児の親子2組の参加があり、路地に生っているぶどうとビニールハウスで生っているぶどうの食べ比べ等、親子で楽しそうにたくさんぶどうを取り、お腹いっぱい食べることができました。ぶどう狩りの後は、ぶどう園(川東・十字ヶ丘農園)のご厚意で、大根抜きも体験させていただき、採りたての大根をお土産にしました。さわやかな秋晴れの下、親子で楽しいひと時を過ごすことができました。

今後の子育て支援センターの事業予定については、本法人ホームページや光西認定こども園子育て支援センターにてご確認ください。今後も親子のふれあい、交流の場として気軽にご利用ください。



## 各こども園での「こども達の様子」を紹介します

12月17・18日の二日間、「ごっこ遊び」で楽しみました。今年度は、5歳児・ひまわり組が“スーパーマリオワールド”、4歳児・さくら組が“うどん屋さくら”、3歳児・ちゅうりっぷ組が“パクパク人形屋さん”を出店しました。



それぞれのクラスがわくわくしながら準備を進め、いざ本番！「いらっしゃいませー」「何がいいですか？」「今、こっちすいていますよー」と子ども達がしっかり店員に成りきり、上手に接客していました。お客さんも、欲しい物が決まったらお手製の財布からお金を出して買い物をしたり、ごっこ遊びを楽しみました。（「ごっこ遊び」～夕陽ヶ丘認定こども園）



子ども達が楽しみにしていた「フロアカーリング体験会」を10月22日（4歳児・さくら組）、29日（5歳児・ひまわり組）に本園のホールにて実施しました。講師は、北見市地域おこし協力隊の“カーリングサポート隊”の方々です。



ストーンに触れるのも初めてで、少々緊張気味の子ども達でしたが、練習を重ねる毎に力加減やコツをつかみ、上手にターゲットに入れることができるようになりました。最後は、チームに分かれてゲームを行い、一投ごとに大きな歓声をあげ、皆で楽しむことができました。目指せ未来のカーリング選手！（「フロアカーリング体験会」～光西認定こども園）



12月7日に「発表会」を行い、たくさんの方に観てもらうことができました。これまで一生懸命練習してきた子ども達!! 当日、泣いて保育教諭から離れられない子や緊張して溜息しか出ない子も、幕が上がるとノリノリで体を動かし、アイドル&俳優さながらの劇や遊戯を披露していました。客席からは感嘆の声が沢山あがりました。中には、「こんなに小さいのに皆すごいね。涙が出たよ!」と涙ぐむおばあちゃんの姿もあり、大成功の発表会となりました。



後日、保護者から「子ども達の成長を感じました」等、感想や感謝の言葉が寄せられました。子ども達は、『上手だったね!』って褒められた!!と満足そうに笑顔を見せていました。（「発表会」～みなみ認定こども園）



## 子ども達のために職能の向上を目指して～【職員研修】

北見福祉会には100名程の職員が在職しています。職種は様々ですが、日々子ども達の健やかな成長を願って仕事をしています。

特に、直接子ども達に関わる職員は、よりよい教育・保育のため個々のスキル

アップを目指して「3園合同研修」や「園ごとの研修」、「自己研修」に平日のみならず勤務終了後や休日も利用し、

取り組んでいます。中でも今年度においては、5年振りとなる「役員・職員研修交流会」を開催し、講師として本法人の大江理事長から講話を頂きました。また、夕陽ヶ丘・光西・みなみ園の各園で「公開保育」を実施し、施設関係者評価委員や他園、近隣学校の先生方等に各園の教育・保育の様子を参観していただき、大変貴重なご意見・ご示唆を頂くことができました。今後の教育・保育に活かしてまいります。

（「発表会」～みなみ認定こども園）



### 【お願い】

新型コロナが5類に引き下げられ、日常生活の制約もほぼなくなりましたが、例年冬から春にかけて新型コロナやインフルエンザ等の感染者が増える傾向です。特に今年は、インフルエンザが猛威を振っているようです。うがい、手洗いの励行等、感染拡大防止に向けた取組にご協力をお願いいたします。